

大桑 第106号 9月号 まさたか

さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！



市議員3期目
よろしくお願いします！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

横浜市議会について

先月(8月号)の大桑新聞で、自民党が30名・民主党が17名・公明党が15名・みんなの党が14名・共産党が5名・無所属クラブが3名・ヨコハマ会が2名などといった横浜市議会の会派構成についてお知らせしました。それに引き続き、今回も横浜市議会について書かせて頂きます。

横浜市議会では、5名以上で会派を組まないと出席できない会議があります。また、会派を組まない議員(1人の場合)の本会議における質問時間は、年間16分程度となっており、1回、最大5分までしか質問ができないなどといったこともあります。

次に、委員長・副委員長などといったポストについては、5人以上の会派を対象に、会派の人数が多い順に振り分けられることになっております。

5人以上で会派を組めば、1人では出られない会議に出席することができ、また委員長・副委員長などというポストにつくこともできます。しかし、一方では本会議などにおいて自分のペースで質問ができないなどといった面もあることは事実だと思えます。

大桑新聞

第106号(9月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型
横浜市立小山台小学校入学
大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)
神奈川県立大岡高校卒業
神奈川大学法学部法律学科卒業
平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職
平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選
平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選
平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業
平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選
家族 : 妻、子(3人)、マメ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

7月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成23年度7月現在の政務調査費累計残高は71,841円です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	0円	会議費	0円
調査研究費	22,140円	事務費	7,953円
資料費	7,170円	事務所費	97,726円
広報・広聴費	365,798円	その他	0円
人件費	50,000円		

7月の支出合計は

550,787円です。

近況報告

平成23年第3回市会定例会(本会議)が9月2日(金)から始まっています。また、今回の定例会中に、平成22年度の決算特別委員会が開催されるため、通常の会期よりも長く10月28日(金)までとなっております。

次に、先月の大桑新聞でお知らせをしていた、プロバスケットボールチーム(横浜ビー・コルセアーズ)と子ども達の交流についてですが、8月21日(日)に予定どおりおこなわれました。先月号の段階では予定となっていましたので、ご報告致します。

約9,839億円

平成22年度の横浜市の会計が確定し、平成22年度の横浜市の借入金(借金)残高が分かりましたので、ここでお知らせをします。

平成22年度の会計報告によりますと、横浜市全体の借入金残高は平成22年度末で5兆1,473億円となっております。横浜市全体の借入金を明らかにするようになった平成14年度の借入金残高6兆1,312億円と比べ9,839億円の削減となっております。

借入金を削減(返済)することにより「横浜市ができることが減り、今、横浜市で暮らしている我々が不便な思いをすること」もあるかもしれません。しかし、今から計画的に借入金を削減していかなければ、「将来の横浜市のことができることが減り、将来世代に過度な負担を強いること」になります。

私は、人口減少(少子高齢化)が始まっている日本の「経済状況が良くなる」、また、「財政状況が良くなる」ということを期待するのは難しいと思っています。同様に、これからの横浜市は人口減少(少子高齢化)が予想されています。そうなれば横浜市の収入(税収)が減少するにもかかわらず、支出(福祉・医療費)が増加するという厳しい状況が続くこととなります。ちなみに、平成22年度の市税収入は7,007億円となっており、平成21年度の7,140億円に比べると133億円減収となっております。是非とも、横浜市の厳しい財政状況をご理解頂けるようお願いいたします。

舞岡上郷線について

これまでも何度かお知らせをした舞岡上郷線についてですが、平成23年6月30日(木)までに工事や点検が終了しました。報告が遅くなり、申し訳ありません。

舞岡上郷線は、平成22年12月に「舞岡上郷線検討委員会」より「現状では構造強度を満たしているが、補修などの対応がなければ強度が低下する恐れがあるため、速やかな補修・補強工事の実施が必要である」とされました。ちなみに、補修・補強工事として「雨水侵入防止・腐食進行抑制・落橋対策・構造補強」が必要だとされていました。

次に、「舞岡上郷線検討委員会」の報告書では、今回の工事はあくまでも短期的な対策であり、「補修などの効果が薄れ、再度、対策が必要となる」、もしくは、「新たな損傷や劣化が顕著となり対応が必要となる」までに本格的な工事が必要だと指摘されておりますので、今後も舞岡上郷線について報告させていただきます。



大桑新聞ではみなさまとともに、

栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp